



坂村真民記念館(砥部町)

笑う門には
福来る。

松山市勝山町1-18-10
(株)日本交通社
TEL(089)946-3911
発行人: 中村剛志

勤労感謝の日

明朗・愛和・喜動

十一月二三日は、全国の神社で「新嘗祭」
という祭事が行なわれます。作物の恵み
に感謝し、翌年の豊穣を祈願する日です。
一年間の宮中行事の中でも、「新嘗祭」
は、最も重要な祭典とされています。天皇
陛下が、今年収穫された新穀を天神地祇
に備え、その恩恵に感謝し、自らも召し上
がる祭典として、飛鳥時代から今日まで
続いています。

この「新嘗祭」が元となつた祭日が「勤

労感謝の日」です。農業における収穫のみ
ならず、「勤労をたつとび、生産を祝い、國
民たがいに感謝しあう」という趣旨で、一
九四八年に定められました。

私たちは、今ある環境に慣れてくると、
恵まれていることを当たり前に思つてしま
うものです。または、他者と比較して、
不足不満を募らせてしまいがちです。
今日は、そうした心をいつたん脇に
おきましょう。この日の持つ伝統的な意味
をかみしめ、この一年様々な恩恵を受け
て生かされながら、働くことができた喜
びに、感謝を捧げたいものです。

● 働ける喜びを分かち合いましょう

「職場の教養」より

働けど働けどなお借金は減らず
老いし農夫の背は曲がり

古希すぎて平穏の日々願えども
時代の外に身は置きがたし

保親さんの人生万感



八木健さんの川柳アート

新築の木の香広がり馴染みたる
金木犀の薰り失せおり
投げ出してほとぼり冷めて再登板
どこかで聞いた話のような



宇和ちゃんの啖呵!!短歌

道しるべ

○今日一日の行動が私の人生
挨拶やお辞儀の一つも疎かにせず、
自分らしく、精一杯行なおう。